

函南町立図書館

出前授業レポート

「子どもたちは、地域の歴史に興味をもてたようです。」

函南町立図書館が、秋の読書週間イベントの一環として、子どもたちに地域の歴史（文化財）について知ってもらう目的で計画し、小学校1年生から6年生までの18人と保護者12人が周辺遺跡の話と勾玉作りの2つの体験をしました。

発掘調査と 周辺遺跡の話

函南町とその周辺には、瓢箪山古墳や柏谷横穴古墳群、向山古墳群などたくさんの遺跡があり、柏谷横穴古墳群などは、国指定の遺跡となっていて、大変に貴重な遺跡であることなどを地図や写真で紹介しました。向山古墳群なども、公園になっていてわかりやすく整備されているので、一度足を運んでみると更に見識が深まると伝えました。

子どもたちの中には、説明を聞きながらメモをとる子もいて、大変興味深く聞いていました。また、保護者のお父さんやお母さん方も話を聞いて聞きながら、知識を新たにしている様子でした。

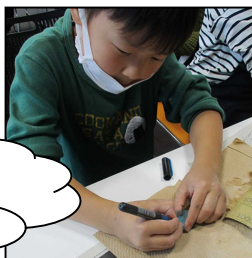


勾玉作り体験

勾玉について説明しました。勾玉の形が、月や魂の姿、動物の牙、胎児などの説があり、日本独特のものであることを伝えました。また、勾玉に使われている石の種類にも、メノウやヒスイ、碧玉、滑石などがあることを話しました。いよいよ作業開始です。今回は、低学年用、中学年用、高学年用と3段階に石の削り方を変えた石を用意しました。第一段階は、一番粗い紙やすりで角を取るように形を作り、好みの形になったところで第二段階の紙やすりで表面についたキズを取り、第三段階の紙やすりでつるつるに磨きます。色を着けて、ワックスで磨き、紐を通して完成です。



「分からないところを教えてくれて、楽しく作ることができました。」



お父さん、お母さんも一緒に作りました。

担当者の感想

「子どもたちに地域の歴史に興味をもってもらいたいという思いから企画したのですが、地域の遺跡の話と勾玉作り体験を通して、そのねらいに沿ったものとなりました。休日の開催となりましたが、対応していただきありがとうございました。参加者の子どもからも、『分からないところを教えてくれて楽しく作ることができました。』という声がありました。古墳のお話にも興味をもったようで、行ってみたいという声がありました。」

